

つばき

11、12月号



2014年 12月 3日
特定非営利活動法人
山口発達臨床支援センター

今年も終わっちゃう



まだまだと思っていたのにもう12月。師走と聞くと、落ち着かない気持ちになるのが不思議です。“悔いのないよう今を大切にしよう。待つか進むか止めるかに迷った時は取りあえずやる！”をモットーに目いっぱい時間いっぱい何かしているはずなのに…何かやり残したことを探している自分がいます。あとひと月の日々を大切に…。今年も良かったと思えるように…。

20周年であった今年度はたくさんの方との出会いがあり、たくさんの方からご支援をいただきました。日々直接かかわりが少ない、国際ソロプチミスト様、マツダ労働組合様、NPO 法人言語聴覚障害児・者支援の会様等、さまざまな職種の方々がセンターの活動に関心をもっていただいていることに気づき感謝の気持ちでいっぱいです。そして、20周年ということで、一時間のラジオ番組（FM わっしょい様）にもお声をかけていただき生出演の機会をいただきました。東京からは、実践障害児教育編集長の相原様、新潟からは動作法習い始めの旧友藤田先生が見学に来られました。また、急なお願いにもかかわらず茶話会でお話しをいただいた講師の皆様…。今年度もたくさんの方々の温かいご支援により前に進めた一年でした。20周年記念の会でも、ご出席いただいた皆さまより温かいお言葉をいただきました。皆さまに支えられていることをうれしく思いながら、今日もお子さんとの時間を大切にしています。“笑顔”で、日々が過ごせることが何より幸せなことであると子どもたちから学んでいます。笑顔は、相手がいるからこそできるものであり、私たちは子どもたちや保護者の皆さまに囲まれて笑顔で生活することができます。来年も“笑顔”の日々が多くありますように…。

みなさまにとっても“笑顔”の毎日になりますように…。

(センター職員一同)

11月、川間先生が長崎県立鶴南特別支援学校で「文字・数の学習に至るレディネス」と題し講演され、そこの生徒さんの作られた手作り作品をお礼にいただきました。センターに飾ってあります。ご覧ください。



山口県特別支援教育臨床研究会のご報告

日時：10月18日（土）9：30～11：30

場所：当センター

話題提供：山口県立山口総合支援学校
高等部 大石 文男 先生



こちらが大石先生

今回の参加者は8名。
山口総合支援学校のお話を基に、何が大切なのか、また就労についてたくさんの情報を教えていただきました。「皆さんの感想より」から感じ取っていただければと思います。たくさんの感想をありがとうございました。

【内容】キャリア教育で大切にしていること

～ 皆さんの感想より ～

- *発達障害を持つお子さんの保護者と家庭で出来る事・・・“可愛がりましょう”→人をキライにならないように、“朝起きたらおはよう”これが就労支援の第一歩になるのだということを伝えていきたい。
- *お話を聴いて一生を見通した支援に取り組んでいきたい。
- *就労めざし、自己実現に向けて制度の利用、サポートの方との出会い、免許取得に向けてなど、長期にわたる体制を知ることができた。
- *いろんな福祉制度が変わってきていることが知れて勉強になった。
- *「まず両親が可愛がって、人を好きになること」・・・心に響き、小学校の中ではまずそこかな、と思いました。
- *小学校勤務なのであまり関わりがないように思いましたが、子どもたちの将来ということを考えると知っておかないといけないと思った。
- *「本人の意思を尊重する」→確かに他人が決めるものではないな、納得のいく人生を送るためにも大切なことだなと思いました。
- *小学生のうちに自分の思いを表現できるよう支援することも大切だと思った。

茶話会のご報告



【内容】就労について

今回の茶話会は、年少さんから成人されているお子さんをもつ保護者の方、11名が参加されました。

就労の仕組みってどうなっているの？ 賃金ってどのくらい？ どんどこで働けるの？ 子どもの将来を考えながら、いろんな疑問が聞けてお勉強になりました。

日時：11月26日（水）10：00～12：00

場所：当センター

講師：能野 伸治 先生

就労支援多機能型事業所

心促福祉作業センター 職員

防府市地域自立支援協議会

就労支援部会 部長



こちらが能野先生

山口県特別支援教育臨床研究会のご案内

日時：12月20日（土）9：30～11：30

場所：当センター

講師：周南市立勝間小学校

齋藤 俊二 先生

参加費：400円

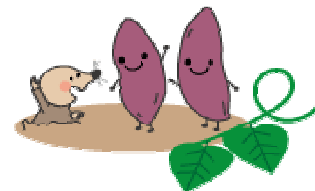
【話題】特別支援教育に思うこと

～ 教員生活を振り返って ～

通常学級の担任からスタートし、特別支援教育を全く意識していなかったころから今日にいたるまでの齋藤先生のご経験や現在取り組まれている特別支援教育に対する思いをお話しいたします。

関心、興味のある方、是非ご参加ください。

～ご報告～



★ 国際ソロプチミスト様より、助成金【3万円】をいただきました。

10月28日（火）防府市のアパホテルで助成金の贈呈式があり理事長の川間先生が出席しました。贈呈式では当センターの紹介をさせていただき、出席者の方々にセンターの活動を知っていただける素敵な機会もいただきました。頂いた助成金は、大事に使わせていただきます。



↓記念写真です



←センターの紹介



早速助成金で時間を計りながらお勉強できるタイマーを2台、購入しました。1つは残り時間が見えるタイマー。もう一つは、休憩も計れるタイマー。これでお勉強頑張ります！



★ NPO 法人言語聴覚障害児・者支援の会様より、小集団活動への助成金をいただきました。

今年も小集団活動への助成をいただき、青年期とキッズの活動に使わせていただきたいと思います。

★ 本を購入しました。

「わが子は発達障害」～心に響く33編の子育て物語～
「全国のお父さん、お母さん、そして子育てをしているすべての方にエールを！」とのキャッチフレーズで集まった子育て体験記のなかから選ばれた受賞作品が1冊に。

センターの本棚に置いています。興味ある方は是非手に取って読んでください。



★ 東京より、学習研究社から雑誌「実践障害児教育」の編集長の相原さんがセンターを訪問されました。みやちゃんの学習の様子を見学された後は、お母さんを交えてコーヒータイム。ジャニーズの話で盛り上がりました。

「実践障害児教育」にはセンター職員の執筆した特集「算数指導」が掲載されました。



↑利用者松本さんと編集長の相原さん

相原さんから書籍の寄付をいただきました。センター本棚にあります。是非ご覧ください。

「発達が気になる子の運動あそび88」

不器用・集団活動が苦手・走り方がぎこちない等の発達支援のための本です。家庭・学校でも役に立ちます

「発達が気になる感覚統合」

「適応力」を育てるための感覚の発達を通して子どもの姿や行動を理解しようとするのが学べます。



～キッズで芋掘り～



11月14日(金)センターの畑キッズで芋掘りをしました。夕方暗い中でしたが、大きいお芋発見!!
毎回、子どもたちのために畑を作ってください藤井さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

*11月のある日、センターに大きな段ボールがありました。県立南陽工業の原川信先生が収穫されたキウイを今年は防府方面に配られたとのこと。防府総合支援学校にも段ボールが届いたのではないのでしょうか。実は、「やった～!!!」と硬いまま食べた子どもたちもいました。原川先生は、センターの賛助会員様です。いつもご支援ありがとうございます。



～お知らせ～

来年1月より山口コ・メディカル学院(言語聴覚学科)の学生さん2名が、センターに実習に来られます。

1月19日(月)～2月28日(土)の6週間

上田 紗世さん 奥田 梨奈さん

期間中、お子さんの指導を見学させていただいたり、質問させていただくことがあるかと思えます。皆様のご理解ご協力、よろしくお願いいたします。

いつも ご支援ありがとうございます!

ご寄附

☆ 小西さま(玩具)



センターからのお知らせ

★前回もお知らせしましたが、センターの年末年始のお休みは下記の通りです。

12/25(木)～1/5(月)まで お休み

ご用の方は、留守番電話またはFAX、メールにて伝言をお願いいたします。6日以降にご連絡させていただきます。



編集後記・・・今年は皆さんにとってどんな年でしたか?

センターは皆様にいろんなご迷惑をお掛けした年だったような・・・。

また来年もよろしくお願いいたします。